

实践

—作文—

第4学年

佐倉市立小竹小学校

指導者 松井 亮

## 1 単元名

心の動きがわかるように

～1学期の学級文集を作ろう～

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元で扱う内容について、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

#### B「書くこと」の(2)内容 ①指導事項

ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を書くこと。

オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。

カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

イ(エ) 句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと。

本単元は、いちばん伝えたい場面を一つ選んで、それがよく伝わるように文章を書く学習である。単元を貫く言語活動は、「1学期の学級文集を作る」である。

本来は年度末に学習する単元であるが、7月に審査会がある文集『ひざし』に向けて、本単元で書いた作品の中から、学校選考を経て「作文の部」に応募したいという意図もあり、6月から7月にも単元を分けて新設した。一学期では学習内容の系統で未習の事項も出てくるが、年度末に改めて本単元の言語活動（「3学期の学級文集を作る」）を行うことで、本単元の活動を生かして作品づくりに取り組んだり、作品の比較を通して書く力の向上を実感したりすることができるだろう。今年度の学級文集作りから良い作品が生まれれば、次年度の文集『ひざし』や各種作文コンクールなどへ応募することもできる。本単元はその起点として、本年度と来年度の文集『ひざし』に関わりながら児童の「書く力」を向上を目指していく、先の長い見通しをもった単元であると捉えることができる。

また、本単元の最も大きな特徴は、教科書に採用されている教材文の出典が、文集『ひざし64号』であることが挙げられる。児童にとって身近なところにある文集『ひざし』の中の4年生の作品が、教科書にも載っているという事実が、作品の良さを客観的に示していると考えることができるだろう。そして、これから作文を書く児童の意欲へとつながっていくことが期待できる。

このように、本単元では文集『ひざし』の作品にふれながら、作文（長文）の書き方を学ぶことができるようになっている。言語活動の「1学期の学級文集作り」では、自分達でも文集『ひざし』のような文集を作っていくことが、書くことの楽しさや自分の作品が読まれることの喜び、そして作品を読み合うことの面白さを知ることにもつながる。また、

保護者にも読んでもらったり、学校の図書室に文集を置いたりすることで、他の学級や学年の児童にも読んでもらえることが、作文を書く上での目的意識・相手意識にもつながるだろう。

文集『ひざし』には、学級毎に出品数の制限があるため全員が応募することはできない。しかし、本単元で作文を書くことが、児童全員の文集『ひざし』への興味や関心を深め、「今年の作品も読んでみたい」という思いを育むものと考えている。

## (2) 児童の実態

学級の児童は21名であり、学年で2学級、43名（交流児童含む）の少人数集団である。男女の割合が半々なこともあり、男女間の仲も良く、活動的でリーダーシップを発揮できる児童が多い。また、3学年進級時に学級編制を行い、4学年ではそのまま持ち上がりとなっていることから、学級間の人間関係も良好である。加えて、本学級は担任も持ち上がりであり、児童との人間関係も継続しているので、落ち着いた学習環境である。

学力面では、昨年度実施の千葉県標準学力検査の結果は、どの領域も県平均を上回っており、基礎学力は高いといえる。各領域ごとに見ていくと、とりわけ「B書くこと」の平均点が他の領域を大きく上回っていた。これは、一昨年まで校内研究で国語の表現力を主題として研究してきたことや、昨年度より学級で取り組んできた、「学級だよりを活用した通年での作文指導」の成果が現れていると考えられる。

一方で、生活面や学習面で多くの支援を必要とする児童や、特別な配慮を要する児童、学習面で個別に支援をすれば理解を深められる児童もあり、本単元においても手立てを工夫して取り組む必要がある。

以下は、本単元を指導するにあたり、児童に行った実態調査の結果である。

4年1組（調査人数 男子9名 女子11名 合計20名 男子1名無回答）

（仮説①「書こうとする力」に関連して）

### ① 「5分間作文」を書くことは好きですか。

|                 |    |             |     |
|-----------------|----|-------------|-----|
| 好き              | 8名 | どちらかというとき好き | 11名 |
| どちらかというとき好きではない | 1名 | 好きではない      | 0名  |

#### 【理由】

##### ○好きな理由

|               |    |
|---------------|----|
| ア・書くのが楽しいから   | 7名 |
| イ・書く速さが速くなるから | 2名 |

##### ○好きではない理由

|                  |    |
|------------------|----|
| ウ・5分で書かないといけないから | 1名 |
|------------------|----|

#### 【その他】

エ・今自分が言いたいことをはっきり文にして伝えられるから  
オ・1日のことを振り返れるから  
カ・先生に今日あったことを教えられるから  
キ・上記以外

### ② 「作文」（主に週末の宿題）を書くことについてどう思いますか。

|                 |     |             |    |
|-----------------|-----|-------------|----|
| 好き              | 10名 | どちらかというとき好き | 9名 |
| どちらかというとき好きではない | 1名  | 好きではない      | 0名 |

【理由】

○好きな理由

|                  |    |
|------------------|----|
| ア・文を書くのが好きだから    | 5名 |
| イ・長い文を書けるようになるから | 4名 |
| ウ・書くのが楽しいから      | 2名 |

○好きではない理由

|              |    |
|--------------|----|
| エ・文が長くかけないから | 1名 |
|--------------|----|

【その他】

オ・不思議に思ったことや楽しかったことを書けるから  
 カ・良いことを書くと学級だよりに載るから  
 キ・作文を書くことで自分の気持ちがわかるから  
 ク・上記以外

(仮説②「書くことができる力」に関連して)

③ 「作文」を書く時にどんなことに気を付けていますか。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ア・漢字や誤字脱字など表記に関すること | 10名 |
| イ・句読点や「」に関すること      | 6名  |
| ウ・段落や構成に関すること       | 4名  |

【その他】

エ・「嬉しかった」「楽しかった」などと書かず、「光る言葉」を使う  
 オ・ちゃんと自分の気持ちを表して書くこと  
 カ・つまらないことを書かない  
 キ・いつ誰とどこで遊んだなどに気を付ける

(目的意識・相手意識に関連して)

④ 「作文」を書いたら、誰に読んでほしいですか。理由も書きましょう。

|              |     |          |    |
|--------------|-----|----------|----|
| 家族(父・母・兄弟姉妹) | 13名 | 先生(担任含む) | 5名 |
| 友達           | 3名  |          |    |

【理由】

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| ア・アドバイスをもらえるから              | 7名 |
| イ・褒めてもらえるから                 | 3名 |
| ウ・学級だよりに載るから・コメントを書いてもらえるから | 3名 |

【その他】

エ・家族はいつもぼくが書いた作文を見たいと言ってくれるし、感想を聞きたいから  
 オ・(家族が)私のことを十分知っていると思うけど、もっと「何でも知ってるよ!」という感じになってほしいから  
 カ・(担任に)3年の時との違いを見てほしい

キ・上記以外

(その児童なりの表現,「光る言葉」に関連して)

⑤ 誕生日プレゼントをもらいました。嬉しい気持ちを書きましょう。

ア・うれしい など 9名

イ・とびあがる, とびはねる, はねあがる など 6名

ウ・天にものぼるこちでした。

エ・野球の試合で勝った感じだった。

オ・むねがウキウキした。

カ・むねがはちきれそうなくらいうれしかったです。

キ・泣きそうなくらいうれしかった。

ク・上記以外

上記の調査についての個々の児童の実態は, 下記の表の通りである。

① 作文(5分間作文)を書くことは好きか

② 作文(主に週末の宿題)を書くことは好きか

③ 作文を書く時にどんなことに気を付けているか

④ 作文を書いたら, 誰に読んでほしいか

⑤ 誕生日プレゼントをもらったときの嬉しい気持ちの表現

(⑥から⑧は, 5分間作文による調査である)

⑥ 10分間で書ける行数(調査時は3段落で書くため, 10分で実施)

⑦ 「会話文」や(心の声)があるか

⑧ 3段落(始め・中・終わり)で段落を変えて書きなさいという指示で, 正しく書いているか。

⑨ 「光る言葉」を書いているか

(A好き Bどちらかというとき好き Cどちらかというとき好きではない D好きではない)

|    | ① | 理由 | ② | 理由   | ③    | ④      | 理由 | ⑤    | ⑥  | ⑦ | ⑧ | ⑨ |
|----|---|----|---|------|------|--------|----|------|----|---|---|---|
| A児 | A | エ  | A | ア    | エ    | 先生     | カ  | ア, イ | 25 | ○ | × | × |
| B児 | A | ア  | A | イ    | ア    | 家族     | ア  | ウ    | 14 | ○ | × | × |
| C児 | A | イ  | B | ア    | ア    | 家族, 先生 | ア  | イ    | 21 | × | ○ | × |
| D児 | A | オ  | B | イ    | ア, イ | 友達     | キ  | ク    | 16 | × | × | × |
| E児 | A | キ  | A | ア, イ | ア    | 家族     | キ  | ク    | 9  | × | ○ | × |
| F児 | A | キ  | A | ク    | イ    | 家族     | イ  | ア    | 30 | ○ | ○ | × |
| G児 | B | キ  | C | エ    | イ    | 家族     | イ  | イ    | 28 | × | ○ | × |
| H児 | B | キ  | A | キ    | カ    | 先生     | ウ  | ア, カ | 18 | × | ○ | ○ |
| I児 | B | ア  | B | ウ    | ア, ウ | 家族     | ア  | ア    | 27 | ○ | ○ | × |
| J児 | B | ア  | B | ク    | ア    | 家族     | ア  | エ    | 20 | × | ○ | × |
| K児 | B | ア  | B | オ    | ウ    | 家族     | エ  | ア    | 16 | × | ○ | × |

|    |   |   |   |   |      |    |   |      |    |   |   |   |
|----|---|---|---|---|------|----|---|------|----|---|---|---|
| L児 | A | ア | A | ウ | ア, イ | 家族 | オ | イ    | 18 | ○ | ○ | × |
| M児 | B | キ | B | ク | キ    | 家族 | ア | ク    | 13 | × | ○ | × |
| N児 | B | キ | A | ア | ウ    | 家族 | ウ | オ    | 28 | ○ | × | × |
| O児 | A | ア | A | ク | イ    | 家族 | ア | ク    | 23 | ○ | ○ | ○ |
| P児 | B | キ | B | カ | ア    | 友達 | キ | ア, キ | 19 | × | ○ | × |
| Q児 | B | カ | A | ク | ア    | 先生 | ウ | ク    | 31 | ○ | ○ | × |
| R児 | B | イ | B | ク | オ    | 家族 | イ | ア, イ | 15 | × | ○ | × |
| S児 | B | ア | B | イ | イ, ウ | 先生 | ア | ア, イ | 14 | × | ○ | × |
| T児 |   |   |   |   |      |    |   |      |    |   |   |   |
| U児 | C | ウ | A | ア | ア    | 友達 | × | ア    | 8  | × | × | × |

まず、作文指導として、今年度取り組んでいる二つの活動について説明する。

一つは、昨年度の4月から継続して取り組んでいる「学級だよりを活用した通年での作文指導」(②と関連、資料A)である。これは、毎週週末の宿題として作文(もしくは詩)に取り組み、児童は週明けに提出をする。担任はそこから複数点(平均10点前後)を選び、学級だより(週刊)にコメントを付けて掲載するというものである。今年度も継続し、現在(1学期末)までに通算54号を発行予定である。

もう一つが、今年度の4月から始めた取り組み「5分間作文」(①と関連、資料B)である。これは、毎日清掃後の5分間を使い、主にその日に起こったことや感じたこと、思ったことなどをできるだけ多く書く活動である。こちらにも毎日コメントを付けて返却することで、「書こうとする力」の向上や、日常的に書く機会を増やすことを目指している。

5分間作文での調査では、⑧の「段落分け」の設問で誤りは数名いるものの、ほとんどの児童が「始め・中・終わり」に内容を分けて書けていた。一マス下げることが忘れてしまう児童もいるが、読み返す段階で気づき、直している児童もいた。段落として内容のまとまりを捉えることについて、数名は「中」と「終わり」が形式だけの段落になり、内容が混ざっていた。本時では色分けした「情報カード」や「組み立て表」を活用することで、内容を分けられるようにしたい。

実態調査(アンケート・段落)のどちらにも未回答のT児については、特別な配慮を要する児童である。書くことへの苦手意識もあるが、本人の気持ちが乗らないと活動事態に参加できないことが多々ある。そのような場面では、声掛けや指導だけでは活動させることが難しく、本人の気持ちが切り替わったり、やろうとしている場面を見付けたりして指導や支援を行っている。作文自体は、聞き取りなど時間を掛けて支援することで、3年生の3学期の段階で、他の児童の半分の文章量を書くことができた。本単元でも個別の手立てを用意して指導を行い、一緒に取り組めるようにしていきたい。

以上の結果から、これまでの指導で児童には「書こうとする力」が身に付いてきており、作文などの文章を書くことが好きで、楽しいと思っていることがわかる。また、家族や先生、友達などに、作品を読んで(見て)もらいたいという気持ちが強いことも読み取れる。一方で、「書くことができる力」に関しては、構成の仕方や光る言葉の指導を通じて、更なる改善を行うことができると考えられる。

以上の児童の実態から、本単元の指導観を考察する。

### （３）指導観

#### ○文集『ひざし』の作品に親しませ、長文を書く動機付けを行う。

単元のゴールに、「１学期の学級文集作り」を設定し、作文を書く目的とする。構成の仕方を学ぶことから、文章量は原稿用紙３枚以上を目標とする。児童はこれまでに取り組んだことのない長文にチャレンジすることとなる。長文の良さは、伝えたいことを文章で表現し、自分の生活やその中で感じたり考えたりしたことを思う存分書けることにある。そこで、文集『ひざし』に載っている作品を読んだり、構成を分析したりすることで多くの作品に親しませ、「長文を書きたい」という意欲や「自分にも書けそう」という気持ちへとつなげる動機付けを行う。そのために、学校図書室にある文集『ひざし』を学年前の廊下に移動し、いつでも読みたい時に読めたり、学習に活用したりできるようにしておく。

#### ○「光る言葉の木」を掲示し、言葉集めを行い、作品に取り入れる。

学級だよりや５分間作文を活用した作文指導により、児童は書く活動に慣れている。しかし、文章の表現力や語彙が増えて作文の中で活用できているかという点、個人差もあるが単純な表現や言葉で満足してしまっている。そこで、「光る言葉の木」（資料Ｃ）を教室に大きく掲示し、そこに光る言葉（いつもは使わない比喩表現や言い回し、目を惹く表現、オノマトペなど）をたくさん集め、いつでも活用できるようにしておく。光る言葉は文集『ひざし』の作品や児童の作文、読書中の本などから適宜集めていく。

#### ○作品づくりの導入で、相手意識をもたせる。

児童は普段から友達と作品を読み合い、保護者にも書いた作品を読んでもらい、アドバイスもらったり褒めてもらったりしている。導入の段階で、完成した文集は友達同士で読み合うことや、家の人にも読んでもらうことを知らせ、相手意識をもたせる。読み手としての保護者は、作品の良さを認めてもらう相手として適任である。褒められたいから頑張る児童や、教員や保護者、友達に読んでもらうことで、程よい緊張感をもって取り組める児童もいる。読んでもらえることが、書くことの動機付けにもなる。

#### ○誰でも書ける手立ての工夫と、個に対する支援を充実させる。

書くことが得意な児童、題材が見付からない児童、漢字で書くことが苦手な児童、表現が単純になってしまう児童など、書くことへの実態は様々である。まずは誰もが書き進められるよう、構成を知る「作品分析ワークシート」（資料Ｄ）や色分けした「情報カード」（資料Ｅ）、構成を考える「組み立て表」（資料Ｆ）などに全員が共通して取り組み、同じ形式で学習を進められるようにする。その中でも個別に支援が必要な児童の実態に応じて、国語辞典や漢字辞典、タブレットＰＣなどを誰でも使用できるようにしておく。苦手な部分を支援することで、意欲をもって活動に取り組めるようにしていく。

### 3 仮説との関わり

仮説①日常的に言語活動の工夫を行うことで、「書こうとする力」が育ち、進んで表現しようとする態度が養われるだろう。

「書こうとする力」＝書こうとする意欲面（主体的に表現しようとする態度）

昨年度から継続して取り組んでいる週末の作文では、書いた作品が選ばれりと学級だよりに掲載し、担任からコメントをもらえたり、友達や保護者に注目して読んでもらえたりすることから、児童は意欲的に書こうとしている。また、今年度は音読カードに読んだ作品の感想を言葉で書き表す活動も取り入れた。思ったことや感じたことを、短い言葉で書き表す場面を、意図的に多くしている。他にも、毎日取り組む5分間作文では、限られた時間の中でできごとを詳しく書いたり、伝えたいことを端的に表現したりするなど、日常的に書く活動に取り組んでいる。書いた作文には、担任が毎回励ましのコメントを付けることで、「書くことで気持ちが伝わる」「書くことが楽しい」と感じている児童が増えてきている。担任からのコメントは、意図的に示唆を与えるものや、言葉で生活を指導するものとなるよう心掛けている。それがまた、次の作文に生かされるようになってきている。

仮説②文集『ひざし』を教材として活用することで、「書くことができる力」が育ち、表現力が高まるだろう。

「書くことができる力」＝書く技術面（文章構成力、語彙力、表現の工夫をする力）

まずは文集『ひざし』の良さを児童に伝えるため、学年の廊下に「ひざしコーナー」を作り、児童がいつでも手を伸ばせる環境を整えた。5月の単元「心のスケッチをしよう」で文集『ひざし』の作品を取り上げたり、道徳の授業で作品の一部を引用して使用したりするなど、良い作品がたくさん集められていることを理解させた。本単元では文集『ひざし』の作品を使い、段落や「始め・中・終わり」などの構成の分析を行うことで、文章構成力や表現を工夫する力を高めていきたい。ひざしの作品からも「光る言葉」を見付ける活動を行い、言葉や表現の幅を広げることでより多くの語彙を獲得し、自分の作品に生かせるようにしていく。また、多くの作品を読むことが、題材設定のヒントにもなる。文集『ひざし』の作品から学ぶことで、本単元の「書くことができる力」を確実に身に付けさせ、児童の書く技術の向上を図っていく。

### 4 単元の目標

#### 【関心・意欲・態度】

- ・自分の心の動きを見つめ、意欲的に表現し、作文に書こうとしている。

#### 【書くこと】

- ・伝えたいことの中心を明確にし、必要に応じて理由や事例を挙げて作文を書くことができる。

#### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・句読点を適切に打ち、会話文を取り入れたたり必要な箇所で行ったりして作文を書くことができる。

5 指導計画 10時間扱い(本時5/10)

| 次          | 学習内容と学習活動                                                                                                                                                                                 | 評価規準                                                                      |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 第一次<br>(1) | <p>○学習の見通しをもち、身近なできごとの中から心が動いた体験を選び、題材を設定する。</p> <p>・「学習の進め方」を読んで、学習の流れと目的を知り、見通しをもつ。</p> <p>・「妹が歩けたよ」の原文を読み、作者の心の動きを読み取る。</p> <p>・身近なできごとの中から、心が動いた場面を発表し合い、題材を考える。</p>                  | <p>・学習に興味をもち、身近なできごとの中から心が動いた経験を思い出し、題材を選ぼうとしている。</p> <p>【関・意・態】(ノート)</p> |
| 常時         | <p>○毎日「5分間作文」に取り組む。</p> <p>○毎週、宿題で「作文・詩」を書く。また、作品が載っている学級だよりを音読する。</p> <p>○音読カードに、読んだ作品の一言感想を記入する。</p> <p>○「光る言葉の木」に良い表現や光る言葉を集める活動に取り組む。</p>                                             | <p>・「光る言葉」に着目して作品を読んだり、作品に書いたりすることができている。</p> <p>【書く】(光る言葉の木)</p>         |
| 第二次<br>(8) | <p>○教材文を音読し、構成や書かれている内容を理解し、表現の工夫を知る。</p> <p>・「妹が歩けたよ」を音読する。</p> <p>・「作品分析ワークシート①」を使い、段落と「始め・中・終わり」に分ける。</p> <p>・段落ごとの内容や、作者の心の動きがわかるように一文でまとめる。</p> <p>・「光る言葉」について、グループで話し合い、意見交換する。</p> | <p>・「妹が歩けたよ」の内容を、段落ごとに短い言葉でまとめている。</p> <p>【書く】(ワークシート)</p>                |
|            | <p>○文集「ひざし」の作品を音読し、構成や書かれている内容を理解し、表現の工夫を知る。</p> <p>・文集「ひざし」の「人間をとらえて」から選んだ作品を音読する。</p> <p>・「作品分析ワークシート②」を使い、段落や「始め・中・終わり」に分ける。</p> <p>・段落ごとの内容や、作者の心の動きがわかるように一文でまとめる。</p>               | <p>・文集『ひざし』から選んだ作品の内容を、段落ごとに短い言葉でまとめている。</p> <p>【書く】(ワークシート)</p>          |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                      |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「光る言葉」について、グループで話し合い、意見交換する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                      |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材を選び、伝えたいことを中心に「情報カード」を書く。</li> <li>・心が動いた場面やできごとについて、1つの情報につき1枚の「情報カード」に書き出す。</li> <li>・伝えたいことの中心と関連するできごとを「情報カード」に書き出す。</li> <li>赤…伝えたいことの中心</li> <li>黄…中心に関連するできごと</li> <li>青…まとめとなる自分の気持ち</li> <li>・「情報カード」を10枚程度作る。</li> </ul>                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことの中心が明確になるように、「情報カード」にできごとを書いている。 【書く】(情報カード)</li> </ul>                                                                |
| 本時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「情報カード」を基に「組み立て表」を作る。グループで書く内容を説明し合い、「組み立て表」を完成させる。</li> <li>・「情報カード」を、作品の構成を考えて「始め・中・終わり」の順に並び替える。</li> <li>・構成を基に「組み立て表」に文章を書き写す。</li> <li>・「組み立て表」を基にグループで内容を説明し合い、意見交換を行い、「組み立て表」や「情報カード」を見直し、修正する。</li> </ul> <p>&lt;意見交換のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心が動いた場面が伝わるか</li> <li>・「始め・中・終わり」になっているか</li> <li>・「光る言葉」を使っているか</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成を考えて「組み立て表」を書き、意見交換を受けて見直し、修正している。 【書く】(組み立て表)</li> </ul>                                                                  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○完成した「組み立て表」を基に、原稿用紙に文章を書く。(2時間)</li> <li>・「組み立て表」の構成を基に、話の筋に沿って文章化する。</li> <li>・「光る言葉の木」などを参考に、表現方法を工夫する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことの中心を明確にし、「組み立て表」を基に理由や事例を挙げて作文を書いている。 【書く】(作文)</li> <li>・句読点を適切に打ち、会話文を取り入れたり必要な箇所で行ったりして作文を書いている。 【伝国】(作文)</li> </ul> |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○書いた文章を自分で読み返し、また、</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換を受けて、文章の間違いを正</li> </ul>                                                                                                 |

|            |                                                                                                                                |                                                     |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
|            | 友達と読み合い意見交換する。その後、推敲する。<br>・文章を音読し、内容や表現におかしなところがないか確認する。<br>・友達と文章を読み合い、感想や表現の良さなどについて意見交換する。<br>・自分の心の動きについて、より良い表現を考え、推敲する。 | したり、心の動きをよりよい表現に書き改めている。 【書く】(作文)                   |
|            | ○推敲した文章を消書する。<br>・推敲した文章を、文集用の原稿用紙に消書する。                                                                                       | ・推敲した文章を基に、原稿用紙に作文を書いている。 【書く】(作文)                  |
| 第三次<br>(1) | ○互いに作品を読み合い、内容の感想や、書き方の工夫について発表し合う。<br>・書いた作文をグループで交換して読み合い、互いの文章の良さや工夫を見付ける。<br>・学習を振り返り、作文を書いた感想や気付いたことを「評価カード」に書く。          | ・学習を振り返り、単元全体を通しての感想や気付きを「評価カード」に書いている。 【書く】(評価カード) |

## 6 本時の指導 (5 / 10)

### (1) 目標

#### 【関心・意欲・態度】

- ・心が動いた場面を伝えるために、工夫して意見交換している。

#### 【書くこと】

- ・意見やアドバイスを聞き、「組み立て表」や「情報カード」を書き改めることができる。

#### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・句読点を適切に打ち、「組み立て表」や「情報カード」を書くことができる。

### (2) 展開

○十分に満足できると判断される状況 △努力を要する状況への手立て

| 時配 | 学習内容と学習活動                               | 指導・支援 (◇) と評価 (◎)                        | 学習材   |
|----|-----------------------------------------|------------------------------------------|-------|
| 2  | 1 前時を振り返り、伝えたいことを中心に「情報カード」を書いたことを確認する。 | ◇「情報カード」に、伝えたいことを中心に関連するできごとを書いたことを想起する。 | 情報カード |

|     |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                               |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 8   | <p>2 学習問題を設定する。</p> <div data-bbox="274 188 1224 240" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 「情報カード」をもとに、「組み立て表」を作ろう。 </div> <p>・段落構成を考えて、「始め・中・終わり」の順に「情報カード」を並び替える。</p> | <p>◇前時で「情報カード」が仕上がらなかった児童には、本時までカード作りの支援を行う。</p> <p>◇「組み立て表」は文章の段落構成として、書く順序を示すものであることを確認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 組み立て表                         |
| 1 2 | <p>3 段落構成を基に「組み立て表」に文章をまとめる。</p>                                                                                                                                                                       | <p>◇「始め・中・終わり」の構成で、段落ごとに「情報カード」の内容を「組み立て表」にまとめる。</p> <p>◇段落構成通りに書くことで、全体のイメージをふくらませる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                               |
| 1 8 | <p>4 「組み立て表」を基に、グループで文章の内容について説明し合う。</p> <p>・意見交換を行い、「組み立て表」を見直し、修正する。</p> <p>＜意見交換のポイント＞</p> <p>・心が動いた場面が伝わるか</p> <p>・「始め・中・終わり」になっているか</p> <p>・「光る言葉」を使っているか</p>                                     | <p>◇グループに分かれて、「組み立て表」を示しながら、伝えたいことや段落ごとの内容を説明し合う。</p> <p>◇説明後＜意見交換のポイント＞を基に、それぞれの意見やアドバイスを伝え合う。</p> <p>◇グループの意見やアドバイスを聞き、「組み立て表」や「情報カード」の表現を書き改める。</p> <div data-bbox="765 1372 1224 2007" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎意見交換を行い、意見やアドバイスを基に、「組み立て表」や「情報カード」を書き改めているか。 【書く】<br/>（組み立て表・情報カード）</p> <p>○内容の説明ができ、意見を言うことができる。また、意見を基に書き改めている。</p> <p>△「組み立て表」を基に、書く順序を説明させる。友達の説明を聞いて、感想が言える。また、「組み立て表」書き改めようとしている。</p> </div> | <p>掲示物<br/>意見交換の<br/>ポイント</p> |

|   |                                                                                                                                                                    |                                                                                                                          |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | <p>5 次時から本文の下書きを始めるという見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「組み立て表」「情報カード」を持ち帰り，保護者や家の人に内容を説明し，作品の良さを認めてもらうことを確認する。</li> <li>・自己評価カードを書く。</li> </ul> | <p>◇「組み立て表」や「情報カード」を基に，次時から下書きを書くことを伝える。</p> <p>◇「組み立て表」を保護者や家の人に説明することで，相手意識をもち，作品の良さを認めてもらうことで意欲的に取り組めるような動機付けとする。</p> |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### (3) 板書計画

心の動きがわかるように  
→一学期の学級文集を作ろう→

④ 「情報カード」をもとに，  
「組み立て表」を作ろう。

- ・「情報カード」を書く順番に並び替える。
- ・「組み立て表」に段落ごとの内容を一文で書く。

〈意見交換のポイント〉

- ・心が動いた場面が伝わるか
- ・「始め・中・終わり」になっているか
- ・「光る言葉」を使っているか

- ・作文の内容をグループに説明する。
- ・〈意見交換のポイント〉をもとに，意見やアドバイスを伝える。
- ・意見やアドバイスをもとに，「組み立て表」や「情報カード」を書き改める。

- ・お家の人に作品の説明をして，たくさん褒めてもらいましょう。
- ・次回、下書きを始めます。

# 4年1組 座席表

平成29年6月27日

## 教 卓

### 5 班

|                                             |                                              |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------|
| D児（男子）                                      | F児（女子）<br>○班長<br>・文章を書く力○<br>・声は小さいがリーダー性がある |
| K児（男子）                                      | B児（女子）<br>○副班長<br>・文章を書く力○<br>・作業に時間がかかる     |
| M児（男子）<br>・集中力が続かない・手いたずらが多い・指示通りにできないことが多い | E児（女子）<br>・文章を書くことはできるが、主述の関係などに誤りが見られる      |

### 4 班

### 3 班

|                                            |                                        |        |
|--------------------------------------------|----------------------------------------|--------|
| R児（男子）<br>・集中力が続かない・作業は速いが、内容が伴わないことがある    | A児（女子）<br>○班長<br>・文章を書く力○<br>・リーダー性がある | L児（男子） |
| P児（男子）                                     | O児（女子）<br>○副班長                         |        |
| J児（男子）<br>○副班長                             | H児（女子）<br>○副班長                         |        |
| G児（女子）<br>○班長<br>・漢字は苦手だが、書くことは好き・リーダー性がある | N児（男子）<br>○班長<br>・リーダー性がある             |        |

### 1 班

|                                                           |                                             |
|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| T児（男子）<br>・書くことが苦手・取り組みめないことがある・無理やりやらせず、気持ちの切り替えを待つ支援を行う | C児（女子）<br>○副班長                              |
| U児（男子）<br>・集中力が続かない・支援を行うと作業には取り組める                       | S児（女子）<br>○班長<br>・文章を書く力○<br>・リーダー性がある・声大きい |
| Q児（男子）                                                    | I児（女子）<br>・書くことは好きであるが、時々、日本語がおかしいことがある     |

### 2 班

(4) 座席表

## ○日常的な言語活動の工夫

学級だより『たいよう』を毎週発行している。

四月十八日(月)  
三十一日 学校だよりの

「たいよう」第一号

たのび入生のかつたです。ちやんと親友になれ  
よう自分が一番がなばりたい三年生の目ひ  
も中であてずめのないで一生けんめいのが  
ならぬ事の手は強くなりたり白お  
ひだけはまだ二月に強めたばかりです。  
う一つ目は、あいつです。なぜかとい  
つが二年生のときは「あまりいいさ  
とてもらしき子と」仲良くなれて

[illegible][illegible]

第4学年 実践記録 - 14 -

今年度、7月の『たいよう』。題材が豊富になり、伝えたいことを端的に書けるようになってきている。

4年1組 半段だより 「たいよう」 第53号

[illegible][illegible]

ブルグスの朝

お風呂で……

西七月十日（月）  
 三校より  
 「たいよう」第五十三号

[illegible][illegible]

いたのつくすた  
 したことゆり生・日  
 こってでもし先へ  
 ためたがまはほつて  
 のの「まし」な日  
 したは私でもうに  
 ぶ別間が「し」の  
 るれいし「し」で市  
 だてたてたくて良  
 る曲にインテ  
 り「時」たの  
 て間ののう  
 そすのうす  
 る「中そかれ  
 にだして  
 になぜがいい  
 のなす曲て  
 けり心こ「び  
 ず間にかま

たね！ 煙草さん  
 ショパン  
 にも手に  
 結せて  
 みよう！  
 可愛  
 セリ

ころろきし 男木ワ で場に  
 しま六たはにガ原「はに  
 ししんし「生はたはに近  
 てもたわくがく作は作は  
 、「行大ワが作はハ、ハの  
 かみつて 好ガし困をハの  
 せんて だタスに「人時  
 わねー なるト「困たは「  
 し夜二 でのしに「てち  
 っで匹「でと「生に  
 かりさ 大私ト食ハ「  
 しまし 大ハこは「時リ  
 ころう にはイで「ワ  
 しまし うきトに「ガ  
 ころう ふかに「行ハ  
 長でな んであさ「ま  
 生すこ してゐる しく  
 ちしで いけとく の  
 ちがま だど、ク の

[illegible][illegible]

『たいよう教室』を第11号より開始。「書くこと」や「作文」などについて、コラム的に掲載していった。

4年1組 年級生より「たいよう」第53号

今日五人の練習試合をした。五人は生とがって、試合は二点対六で勝りました。でもやっかたうてもさした。シュートもつとしたし、試合では三回もつとした。この試合から、選手が日に出るべきだ。

打撃ランニングホームランというこは、遠くまで打撃が飛んだですね！一塁が長く感じるね(笑)

[illegible]

なにおしで  
か父さんには  
あささが全く  
になんては  
なびては白  
ねアシ分  
いってで  
せつて全  
さん。ア  
たばで  
ばいくす  
くでも。異  
はすは月  
。やくじ  
たくはち  
ずかAC  
ないに  
びす  
。なです  
。となつ  
るま  
いかで  
がこ馬

栗馬

お  
の  
の  
ガ  
代  
文  
子  
も  
お  
馬  
子  
も  
ガ  
子  
の  
文  
子  
と  
！  
  
さ  
ん  
き  
が

松井さん さささん ささん  
わみん 明生 やお ぬい いち いち みる  
ん さん さん さん さん さん さん  
な ない いち いち 元 げん もん  
の ナン げん ない 二 天注は  
中 國力 命 ない 格 こ 天注は  
心 が マ 男 しい コ 然 はん  
！！ 印 だ 子 だ ける アノ 娘  
！

さ　　さ  
さんさんさんさん  
さん　　ん　　ん  
　　ん

いみ天穿い夜間控  
つん顔がつ遠良が  
もなが富もい上  
面のすいパッ　手  
白りて　ワば  
いぎ　　つい  
ダ　　ル  
　　ダ

[illegible][illegible]

ばくの好きな教料

心配だった私の自転車

家にもひらううたで外  
 しづまっつたんだとそげん  
 しくいっさうでブルま  
 りルりおんもいであ  
 けししまあもあつた  
 ましたしあもやはに  
 るしたままより「酒  
 でた」「しまたけつ  
 体」「またたかっ  
 いさの」「たつこ  
 づ」「ごころもで運  
 入にいイヤすけい  
 りも達ダ「ス」行  
 まうさ「分だどき  
 しゃだはくししま  
 したん」「はてし  
 「二たねいけでた  
 とすのなげに二  
 と五でがにこれれ

こてはし 温水ブール

継続的な言語環境の耕しが、児童の「書こうとする力」を育てていると感じている。

< 5 分間作文 >

|                                                                                                                                                |                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4/7 明日</p> <p>今日入学式練習羽音が<br/>ありました。明日は<br/>本番なので新一年<br/>生がここはいい学校<br/>だ。私・ほくもがんば<br/>う。という気持ちに<br/>なるように。(元)顔<br/>や(歌)声がかんは<br/>りたいたです。</p> | <p>4/7 明日</p> <p>今日入学式練習羽音が<br/>ありました。明日は<br/>本番なので新一年<br/>生がここはいい学校<br/>だ。私・ほくもがんば<br/>う。という気持ちに<br/>なるように。(元)顔<br/>や(歌)声がかんは<br/>りたいたです。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

4月から始めた新たな取り組み。書きやすいように縦罫B6サイズのノートを使用した。利点は文字の大きさを気にしないで書けること、難点は文章量が比較し難しいこと。

|                                                                                                                                                |                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4/8 明日</p> <p>今日入学式練習羽音が<br/>ありました。明日は<br/>本番なので新一年<br/>生がここはいい学校<br/>だ。私・ほくもがんば<br/>う。という気持ちに<br/>なるように。(元)顔<br/>や(歌)声がかんは<br/>りたいたです。</p> | <p>4/8 明日</p> <p>今日入学式練習羽音が<br/>ありました。明日は<br/>本番なので新一年<br/>生がここはいい学校<br/>だ。私・ほくもがんば<br/>う。という気持ちに<br/>なるように。(元)顔<br/>や(歌)声がかんは<br/>りたいたです。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

4月当初は日記的な内容が多く、文章量も概ね1ページ分程度で書いている児童が多かった。書くことが得意な児童は、自分の気持ちや視点を明確にして書けている。

|                                                                                                                                                |                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4/8 明日</p> <p>今日入学式練習羽音が<br/>ありました。明日は<br/>本番なので新一年<br/>生がここはいい学校<br/>だ。私・ほくもがんば<br/>う。という気持ちに<br/>なるように。(元)顔<br/>や(歌)声がかんは<br/>りたいたです。</p> | <p>4/8 明日</p> <p>今日入学式練習羽音が<br/>ありました。明日は<br/>本番なので新一年<br/>生がここはいい学校<br/>だ。私・ほくもがんば<br/>う。という気持ちに<br/>なるように。(元)顔<br/>や(歌)声がかんは<br/>りたいたです。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

5分間作文と家庭学習で取り組む作文との違いは、5分間作文は基本的に担任のみが見るものであること。定期的に家庭に持ち帰り、保護者にも見ていただいているが、他の児童に見せるものではないので、気軽に書きたいことを書ける時間になっている。

爾今日のおええん練習で  
 気<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>たこてかありまし  
 た。それは白組の方声<sup>か</sup>  
 大きいと氣<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>しました。や  
 つけろコールも白組が大  
 きいし、ぼくはおうえんか  
 も白がききと申<sup>ま</sup>います。

(生)今日は運動会の前日です。ぼくがかんばりたのは、おうえんです。なぜかというと、初めのおうえんだからです。一人一人が大きな声で「オス」といえば、もしろい。たら、おうえんかぜん勝つかもしれません。松井先生と竹原先生に教わったことを、かして運動会ゆうしょうしたいです。

きのうのフルテストは  
3人でおよぎました。しかも  
その2人はちゅうはやくて  
私と1位の子ではちゅうの  
さをつくられました。  
2位の子とは3人をはな  
されました。そして結果  
は51秒で合かくのはすめ  
53秒でした。もう少し  
で合かくたので、とても  
くやしめ、下です。

は51秒で合かくのはずが  
53秒でした。もう少し  
で合かくた。たので、ても  
くやしめ、たです。

私はまだ特級な、た  
はかりでまだS5もうか、ア  
ないのも特級の新人  
です。そして手およま  
せおま、バタフライをS4  
までうかさないとかロール  
をおよげません。私はクワ  
ールをおよぐために  
きとも、と練習をしつ  
ています。おほやくなれる  
ようにがんばります。  
クロールは四股歩さんだね、バタフライ  
が少し伸びた。プリーンは25秒、バタフ  
ライは30秒になりました。バタフライは  
上手男の記録より、おおよそ1分くらい

7/3  
(月)  
す  
る  
い

今日は、とてまあつかつたです。なのにな、今日はプールがない。さいあくーと思ひました。ゆいとは、プールだったのずるいと思ひました。あつし、ずるい一日でした。

あしたはみんなが、プールですよ!!  
わあ、プールは二月に入りたてで、  
わあ、プールカードまでとへたようには

74(4) 着衣泳  
 今日、は、着衣泳  
 をやりました。私は  
 毎年、同じことで  
 ヒンワリします。  
 それは、  
 水着をきいている  
 ときはかるくて  
 スイスイと泳げ  
 のに、ふくをきると  
 重々と思いつくと  
 下す。

もし、水におぼれ

てしまふなごのこ  
が、あつたう今日学  
んだことをいかして  
行動したいです

水着がくいてゐる。てこでもか  
はつねに泳がせ、よく泳いで、  
うもれを、あつちの道果かゝいて、こゝ

5 分間作文では、日記的な出来事中心の文章から、心情や心の動きに着目した内省的な文章への変化が顕著であった。ただし、精神面の成長と関連があるようで、女子に多く、男子は一部の児童に見られた。最後まで日記的な内容を書いている児童も数名いた。2 学期は、目標を設定して取り組ませていきたい。

官說刀一下 二教目


 大きな声で、はっきりと、  
 気持ちを込めて読みましょう。
 
 おうちの人に聞いてもらって、  
 サインをいただきます。

大衆よい  よい◎ ふつう○ もう少し△

| 月/日  | 読むところ<br>(読んだ回数)      | 声の大きさ<br>正確さ | 包頭点や<br>「の」工夫 | 読んだ感想や自分の<br>思いを一文で書こう | 85%<br>人のイ | 先生の<br>サイン |
|------|-----------------------|--------------|---------------|------------------------|------------|------------|
| 4/20 | ふうしき (1回)             | ☺            | ☺             | ふんがったおもて。<br>まじでうたがった。 | ☺          | ☺          |
| 4/23 | たいよう (1回)             | ☺            | ☺             | おたけのうたがうたが<br>たのしい!!   | ☺          | ☺          |
| 4/24 | わたしのあつた<br>うさぎ (1回)   | ☺            | ☺             | 生きている。うさぎを<br>たのしみに。   | ☺          | ☺          |
| 4/25 | いしにふと<br>笑ったおひ (1回)   | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |
| 4/26 | むし (1回)               | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |
| 4/27 | いしにふと<br>笑ったおひ (1回)   | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |
| 4/28 | たいよう (1回)             | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |
| 4/30 | たいよう (1回)             | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |
| 5/1  | どうと (1回)              | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |
| 5/6  | わがや<br>水<br>たけせん (5回) | ☺            | ☺             | おもしろうたが<br>うたがたのしい。    | ☺          | ☺          |

|               |                     |                   |                                                       |
|---------------|---------------------|-------------------|-------------------------------------------------------|
| あうちの人<br>から一言 | 音読犬433で<br>息にふてまのぞ! | 自分の感想や<br>気持ちを書こう | 4年のとうとうと3年の<br>とうとうと、 <u>いよいよ</u> お別れ<br>とても心にひびくわいど! |
|---------------|---------------------|-------------------|-------------------------------------------------------|

普読カード 2枚目

 大きな声で、はっきりと、  
気持ちを込めて読みましょう。

 おうちの人に聞いてもらって、  
サインをいただきましょう。

大変よい❀ よい◎ ふつう○ もう少し△

| 月/日  | 読むところ<br>(読んだ回数)    | 声の大きさ<br>正確さ | 切読点や<br>「の」の工夫 | 声の大きさや自分の<br>思いを一文で書こう        | 約50<br>60分 | 先生の<br>サイン |
|------|---------------------|--------------|----------------|-------------------------------|------------|------------|
| 4/1  | 雨のバスでいっ<br>ふ所まで (四) | ○            | ○              | 雨のバスをまわりか<br>つていって来た。         | 50         | 松          |
| 4/1  | とでかい<br>水たまり (四)    | ○            | ○              | とでかい水たまりの<br>お水も思ひがた          | 50         | 松          |
| 4/9  | おじいちゃんか<br>おはては(一四) | ○            | ○              | 動物を大切にしたい<br>と書いています。         | 50         | 松          |
| 4/20 | ふろしき (四)            | ◎            | ◎              | 昔の物、ふろしき<br>がなくなっています。        | 50         | 松          |
| 4/21 | たいよう (四)            | ◎            | ○              | たいようの光をみ<br>ると、心なごいと思<br>います。 | 50         | 松          |
| 4/27 | たいよう (四)            | ◎            | ◎              | 日本国憲法の14日<br>敬賀です。            | 50         | 松          |
| 4/27 | たいよう (四)            | ◎            | ◎              | 日本国憲法で色々<br>書いてあると思<br>います。   | 50         | 松          |
| 4/28 | わたしのあつた<br>小倉城 (四)  | ◎            | ◎              | わたしのあつた小倉<br>城は、今も残って<br>います。 | 50         | 松          |
| 4/28 | わたしのあつた<br>小倉城 (四)  | ◎            | ◎              | わたしのあつた小倉<br>城は、今も残って<br>います。 | 50         | 松          |
| 4/28 | 「ふ」をきえて<br>(四)      | ◎            | ◎              | みんなの手伝いをし<br>て、みんなが喜<br>びます。  | 50         | 松          |

|               |                               |                  |                 |
|---------------|-------------------------------|------------------|-----------------|
| かう考の人<br>から一言 | 無心になって<br>読んでいるが、<br>よく読んでいます | 自分の感想や<br>疑問を書こう | もし読んだら<br>どう思うか |
|---------------|-------------------------------|------------------|-----------------|

目 次


 大きな声で、はっきりと、  
 気持ちを込めて読みましょう。
 
 まっちゃんに聞いてもらって、  
 サインをいただきます。

大衆おい  おい◎ ふつう○ もう少し△

| 月/日  | 読むところ<br>(読んだ回数)     | 声の大きさ<br>正確さ | 句読点や<br>「」の工夫 | 読んだ感想や自分の<br>思いを一文で書く | お友達<br>のサイン | 先生の<br>サイン |
|------|----------------------|--------------|---------------|-----------------------|-------------|------------|
| 4/5  | ひとし、<br>(四)          | ◎            | ◎             | 1ヶ月もかかって<br>ひたひたと思う   | ◎           | ◎          |
| 4/6  | たまご<br>の形 (四)        | ◎            | ◎             | 気もふりこめてやる<br>ところ。     | ◎           | ◎          |
| 4/11 | 空は、<br>(四)           | ◎            | ◎             | 毎日思ひます。               | ◎           | ◎          |
| 4/10 | あかとうの<br>まき (四)      | ◎            | ◎             | あかとうとまき<br>さうにする      | ◎           | ◎          |
| 4/11 | 水かき入た<br>水 (四)       | ◎            | ◎             | 水かきにまきには<br>まきを入れたかき。 | ◎           | ◎          |
| 4/13 | なにかでたいて<br>きことおま (四) | ◎            | ◎             | なにかでたいては<br>まきかきと思ふ   | ◎           | ◎          |
| 4/14 | たいよう<br>(四)          | ◎            | ◎             | たいようとおもしろい<br>まきかき。   | ◎           | ◎          |
| 4/15 | 雨のふさい<br>りやう所 (四)    | ◎            | ◎             | 雨のふさいりやう<br>まきかき。     | ◎           | ◎          |
| 4/18 | とべない<br>ホテル (四)      | ◎            | ◎             | とべないホテル<br>まきかき。      | ◎           | ◎          |
| 4/19 | びんちん<br>おまき (四)      | ◎            | ◎             | びんちんのまき<br>おまき。       | ◎           | ◎          |

|               |                          |                  |                      |
|---------------|--------------------------|------------------|----------------------|
| あうまの人<br>なう一言 | あうまのうま<br>up. 47. 10. 11 | 自分の感想や<br>質問を書こう | もっとせいかくしたい<br>ふふふふふふ |
|---------------|--------------------------|------------------|----------------------|

音読カード 3 枚目

 大きな声で、はっきりと、 おうちの人に聞いてもらって、  
気持ちを込めて読みましょう。 サインをいただきます。

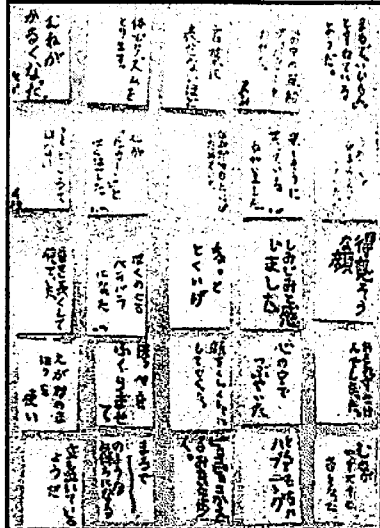
大衆おい  おい◎ めつう○ もう少し△

| 月/日  | 練習のところ<br>(決んだ回数)  | 声の大きさ<br>正確さ | 句読点や<br>「」の打ち | 読んだ感想や自分の<br>思いを一文で書こう         | おまけ<br>先生のサイン |
|------|--------------------|--------------|---------------|--------------------------------|---------------|
| 5/10 | おのきますの<br>四人兄弟 (四) | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/11 | 白鷺の<br>いばきで (四)    | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/14 | いばきで<br>(四)        | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/15 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/16 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/17 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/18 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/19 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/20 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/21 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/22 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |
| 5/23 | いばきで<br>おのきます (四)  | 花            | 花             | おのきますのよいよい<br>おのきますのよいよいおのきますの | 花             |

|               |                                     |                   |                   |
|---------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------|
| あうちの人<br>なう一言 | ローマをクサすやうに<br>万々金でいへば<br>★ ガンバリロー!! | 自分の意思を<br>貫くは重要こう | 何かニスト<br>二つをばいし全部 |
|---------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------|

4月から、音読カードに感想や思いを書く欄を設けた。頭に浮かんだことを、すぐに書き表す練習になる。保護者のチェックや一言も、書く意欲の向上につながっている。

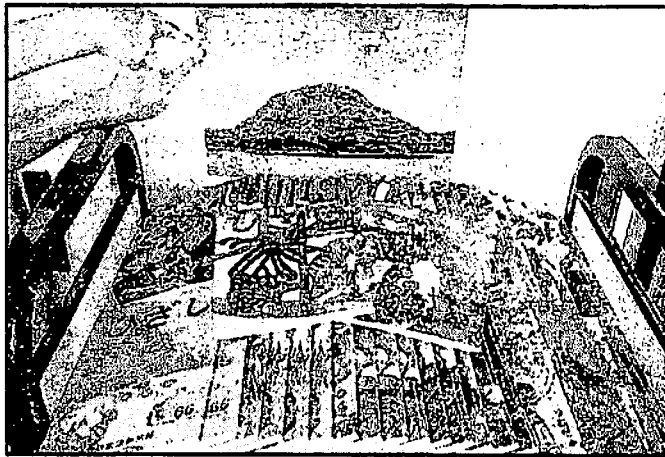
意図的に書く場面を設定することで、考えながら読むことが習慣化されてきている。



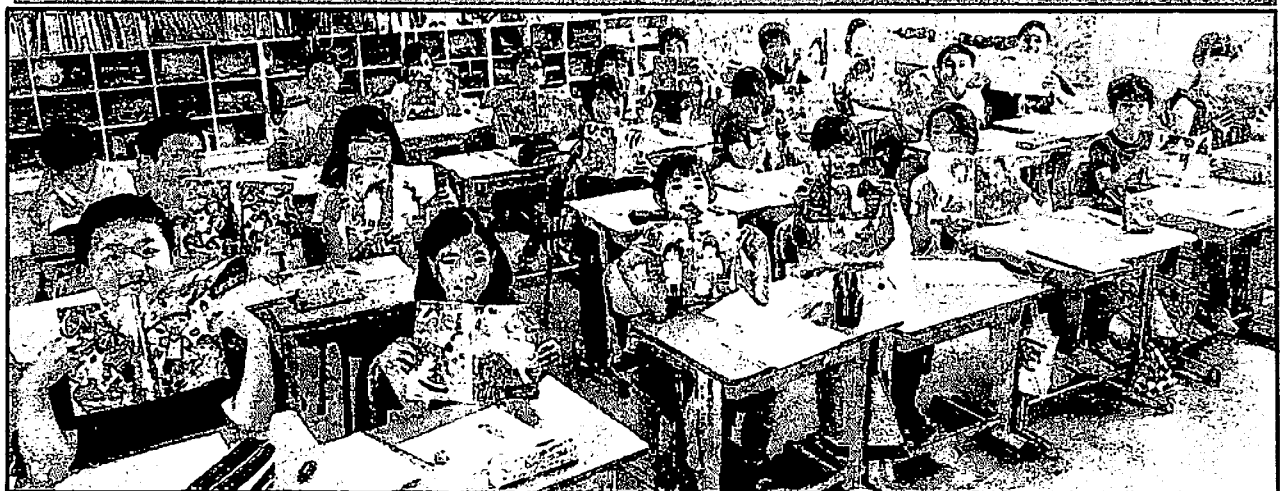
## 光る言葉の木



↑「光る言葉の木」に、文集『ひざし』（左）や5分間作文（右）から抜き出した光る言葉を貼り付けていく。通年で継続して取り組むことで、貼りきれないほどの光る言葉を集め、言語感覚を養いたい。



本単元で文集『ひざし』を活用するに当たり、図書室の蔵書が欠かせないものであった。一人二冊配本できる冊数があったからこそ、興味に応じて多様な作品に出会うことができた。ぜひ図書室や学級文庫の中に、文集『ひざし』を置いていただきたいと願う。



○単元の手立て <ひざしの分析（作品構成を考える）ワークシート>

四年生 国語

文集『ひざし』の作品構成を考えよう

妹が歩けたよ

酒井井 四年 吉岡 愛

去年、妹が生まれた。ずっと一人だったから、妹ができてうれしくてしょうがなかった。お母さんのおなかの中にいる時から、楽しみでわくわくして待ちどおしかった。

思っていたより、赤ちゃんの世話は大変だった。おむつをかえたり、着かえさせたり、だっこをしておやすんだり、私もお母さんを手伝った。特に、いつまでも泣きやんでくれない時は、どうしていいかわからなかった。でも、妹がわらってよるこんでいる顔を見ると、とても幸せな気持ちになった。「早く歩けるようになって、いっしょに遊びたいな」といつも思っていた。

生まれてから半年くらいたったころ、妹がねがえりをするようになった。このころと楽しそうに寝がっついていて、そうしていろいろに、いすにつかまって立とうとしていたのを見た。

「あつたつた」といって。」

私は、急に「お母さん、まだ足がぐらぐらしてうまく立てないけれど、一生けん命立とうとしている妹をおうえんしたくなった。初めのうちは、うまく立たなかったけれど、何日かしたら、立つのが上手になっていった。いすにつかまりながら立っている妹は、得意そうな顔をしていて、まだおしゃべりできないけれど、私を見るようにこちらをくくると、言葉もわかってきているようだ。だつては、いすから手を放れるようになってきた。

そして、いよいよ歩く練習が始まった。すぐお母さんかと思つたら、一歩目ですたおれてしまった。あんないので手で支えてあげた。すると、私の手をしっかりとぎつて、一歩、そとまた一歩と、前に進むことができた。つかれてすくろこんでしまったけれど、何度も何度も繰り返し練習した。手をはなすと、すくたおれてしまふことが多かったけれど、妹と私の練習は毎日続いた。

「いち、に、いち、に。」

私の背に合せて、妹が足を前に進めていく。「二歩進んで三歩目でおれて、三歩進んで四歩目でおれて、なかなかうまくいかない。

わかったことや気付いたこと

氏名

ある日、学校から帰つたら、妹がいなかった。さがしたら、ベランダにいた。

「練習しよう。」

声をかけてみたけれど、よそ見をしながら、また声をかけてみたけれど、妹は来ようとしなかった。

「練習しないよ。」

また声をかけてみたけれど、妹は来ようとしなかった。まるで「いいもん」とすわっているようだ。「早く練習、いやになつちやうたのか。」その日は、練習をしなかった。

次の日、またいすにつかまわっている妹を見つけた。いすからいすまで歩こうとしていた。少しさえて椅子を見ていたけれど、手をはなしてみた。すると、

「歩けた。」

思わずお母さんでしゃべった。いすからいすへと、自分だけの力で歩けたのだ。

「すこいすこい。」

はく手しながら、大喜びした。妹がこんなにがんばったことが、うれしくて自まんしたいくらいだった。妹も、うれしそうだった。何度もいすを降りたり来たりしていた。

休みの日、おじいちゃんが遊びに来た。おじいちゃんが「おいで。」

とよと、おじいちゃんの所まで、妹は歩いていった。

「すこいな。歩けるようになったんだな。」

おじいちゃんも、お父さんも、お母さんも、私と妹も、みんな笑顔になった。

妹は、これからどんな成長を見せてくれるだろう。とても楽しみにだ。どんな言葉をしゃべるのだろう。どれくらいせがめるだろう。勉強は好きになるかな。歌えなくちゃならないことが、いっぱいありそう。私も、妹に負けぬようにがんばろう。これから、もっともつとよいお姉ちゃんになりたいな。

四年生 国語

文集『ひざし』の作品構成を考えよう

氏名

○好きな作品を選んで、段落ごとに内容を一言で書き表そう。

段落（場面）

号 題 名

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑩ | ⑨ | ⑧ | ⑦ | ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

光る言葉

教科書教材になっている、文集『ひざし』の原文を使って、長文の作品構成を分析した。

- ①何段落で書かれているか。
- ②段落ごとの主な内容は何か。
- ③伝えたいことの中心はどこか。（心が動いた場面）
- ④光る言葉はあるか。

についてまとめた。共通教材の他に、「人間をとらえて」「学校生活の中で」から作品を選んでの分析や、光る言葉集めも行い、長文を書く意欲を高めていった。

わかったことや気付いたこと

分析を行うと、10段落より多い作品や、5段落より少ない作品もあった。段落分けのお手本となる作品を、予め数点選んでおくとわかりやすかったと思う。

文集『ひざし』の蔵書が50冊程あったことで、多くの作品に親しむことができた。

文集「ひざし」の作品構成を考えよう

氏名 木村 光

○好きな作品を選んで、段落ごとに内容を一言で書き表そう。

11 段落 (場面) 65 場面名 かがやく命とえがいのまほう

| 始め                     | 中                       | 終                       |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ① かわりがてる・軽くて小さい赤ちゃん    | ① 初めて命はすごく大切だと思った       | ① ああ①を讀んで「せいいばい生きよう」という |
| ② いとこの紗彩ちゃんが生まれた       | ② 命を大切にすることはどのようなことをするか | ② いろいろなことには休けんして力をつくす人  |
| ③ 万里奈(お姉さん)が初めて赤ちゃんをだこ | ③ 夜方里奈のアルバムをお母さんと目見た    | ③ おじいちゃんこ赤ちゃんと一しよに写す真を  |
| ④ みんなえがおでじゅんばんにだこした。   |                         |                         |

光る言葉「せいいばい生きよう」じかをつくる人、命もかがやくせたい、えがいのまほうを使い

わかったことや気付いたこと

私は命をどのようにして大切にすることか万里奈さんに思ってたけいしんをすること体けんして命を大切にしようということが分かってよかったです。

えがいのまほうを使い命をかがやかせたい

文集『ひざし』から、それぞれが興味をもった作品を選んで取り組んだ。段落ごとにどんな場面かを一文でまとめ、光る言葉を抜き出すことで、作品構成をつかんでいった。

文集「ひざし」の作品構成を考えよう

氏名 木村 光

10 場面名 命をすくいたい

| 始め                   | 中           | 終           |
|----------------------|-------------|-------------|
| ① 時々や何年かかかっているか伝えている | ① 大切なことを学んだ | ① 大切なことを学んだ |
| ② 病気で苦しむことになる        | ② 大切なことを学んだ | ② 大切なことを学んだ |
| ③ 大切なことを学んだ          | ③ 大切なことを学んだ | ③ 大切なことを学んだ |
| ④ 大切なことを学んだ          | ④ 大切なことを学んだ | ④ 大切なことを学んだ |

わかったことや気付いたこと

大切なことを学んだ

文集「ひざし」の作品構成を考えよう

氏名 木村 光

10 場面名 わたしのあはれ

| 始め          | 中           | 終           |
|-------------|-------------|-------------|
| ① 大切なことを学んだ | ① 大切なことを学んだ | ① 大切なことを学んだ |
| ② 大切なことを学んだ | ② 大切なことを学んだ | ② 大切なことを学んだ |
| ③ 大切なことを学んだ | ③ 大切なことを学んだ | ③ 大切なことを学んだ |
| ④ 大切なことを学んだ | ④ 大切なことを学んだ | ④ 大切なことを学んだ |

わかったことや気付いたこと

大切なことを学んだ

文集「ひざし」の作品構成を考えよう

氏名 木村 光

17 場面名 えがいてくれたこと

| 始め          | 中           | 終           |
|-------------|-------------|-------------|
| ① えがいてくれたこと | ① えがいてくれたこと | ① えがいてくれたこと |
| ② えがいてくれたこと | ② えがいてくれたこと | ② えがいてくれたこと |
| ③ えがいてくれたこと | ③ えがいてくれたこと | ③ えがいてくれたこと |
| ④ えがいてくれたこと | ④ えがいてくれたこと | ④ えがいてくれたこと |

わかったことや気付いたこと

えがいてくれたこと

文集「ひざし」の作品構成を考えよう

氏名 木村 光

9 場面名 えがいてくれたこと

| 始め          | 中           | 終           |
|-------------|-------------|-------------|
| ① えがいてくれたこと | ① えがいてくれたこと | ① えがいてくれたこと |
| ② えがいてくれたこと | ② えがいてくれたこと | ② えがいてくれたこと |
| ③ えがいてくれたこと | ③ えがいてくれたこと | ③ えがいてくれたこと |
| ④ えがいてくれたこと | ④ えがいてくれたこと | ④ えがいてくれたこと |

わかったことや気付いたこと

えがいてくれたこと

この活動で見付けた「光る言葉」は、掲示物「光る言葉の木」に貼り付け、自分の作品づくりに生かせるようにした。語彙を増やすことと、表現力の向上につながっていく。

母からうの手紙で号泣してしましたこと  
 〈名前の由来〉  
 手紙のさきに「すずらんよりと書きなごに  
 (おほり、いふ前だろ)」と思う。  
 〈これは小三の時のことだ。〉  
 じいさんの内うちに、小三じいさんのたしがあて  
 親から手紙をもらうものがあつた。  
 手紙をよめばすだだ日に、風邪を引き  
 休む。  
 家のガストロに入、ていたくたいなどにまじて  
 手紙が入っていた。  
 戸に出すしこゑで、読み進める私と  
 手紙をかたきが見つづける。  
 「すずらんの花のさくらにかわくやまぐ、美しく、  
 そして、黄のうにすこゝ元氣な子にあらうに」  
 感動して泣いてしまつた。  
 手紙の上にしたたる、数粒のなみだ。  
 「母より」の下に「ありがと」と力のぬけた字で  
 書いた、それを母にわたした。  
 母のうでのすで、わんわん泣いた。  
 母「よしよし」  
 学校でも何んか泣く人がいたらしい。  
 母の命を大事にしたがう。

[illegible]

「情報カード」をもとに「組み立て表」を作ろう

氏名：.....

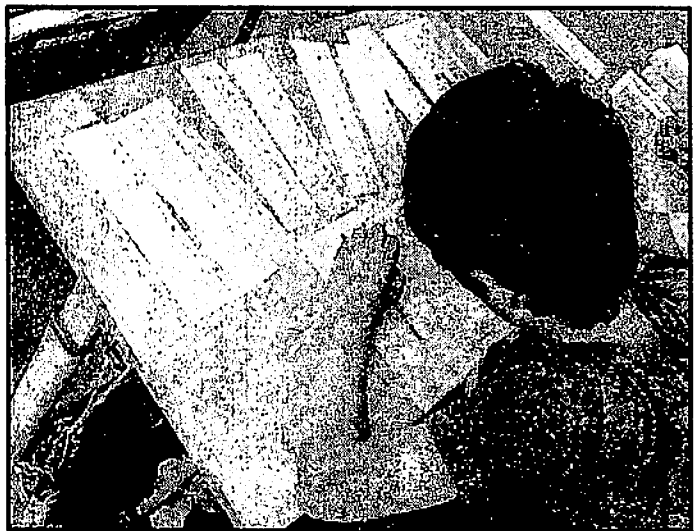
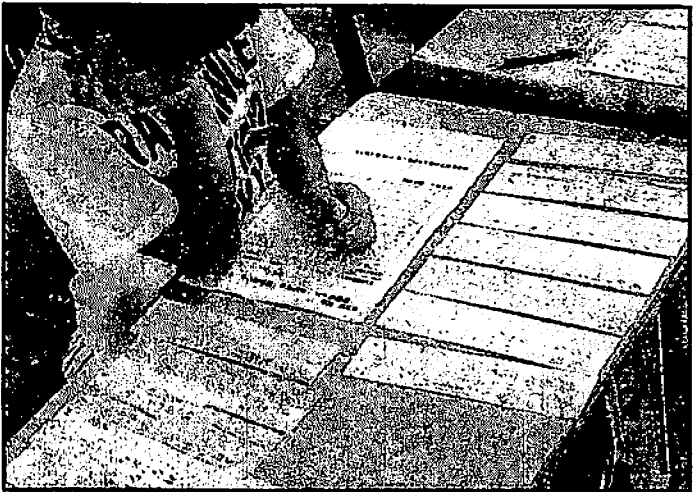
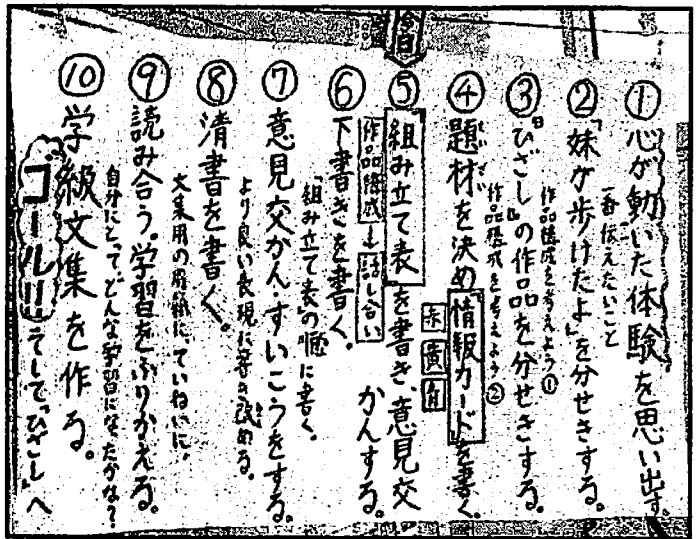
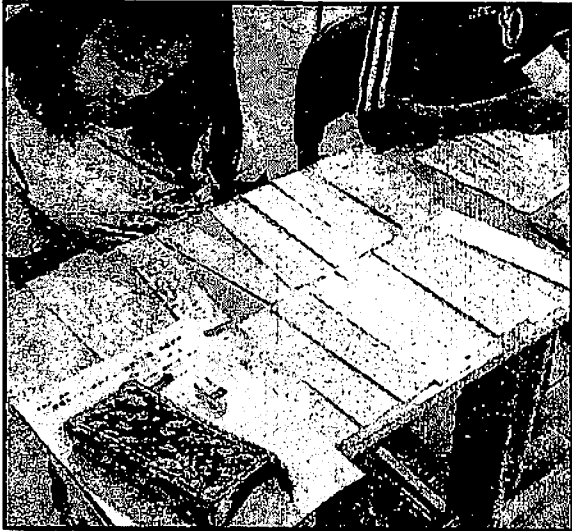
○作文の練習をかねて、早く読者に「情報カード」を送りたい。……組み立て表（二頁）を用意したいこと

| 始 |                               | 中 |                          | 終 |                            |
|---|-------------------------------|---|--------------------------|---|----------------------------|
| ① | よびかけ文、おきくさんは自分の命を大切にしている。     | ① | その手紙（名前由未入り）で号泣したこと      | ① | この手紙を読んでも、おきくと、そういえばたぶん    |
| ② | 私は二年のころ、命の大切さを知ったんだ。          | ② | 声に出すと、私は言説する（母私を見つめる）    | ② | さういふことを、勝手にイライラしてたら、なに私は…… |
| ③ | じゃあもう内ようは、二者から小さいころのようすを知ろう。」 | ③ | お前の通りに、元気がよく、すてきな子になって。」 | ③ | なんだ目の前がみんできてる。手紙の上に数粒の涙    |
| ④ | 事前にならされた手紙を（早くよみたいな！）         | ④ | その中には、あの手紙がまじっていた。       | ④ | 母より」の下に力がぬけた字で「おきく」と。      |
| ⑤ | 次の日、手紙も読む自分の風邪引く私。            | ⑤ |                          | ⑤ | 母は頭を下げて、「生まれてくれてありがとう。後、」  |
| ⑥ | ポストを見て行くと、宿題などが入っている。         | ⑥ |                          | ⑥ | 私を生んでくれて本当にありがとう。」         |
| ⑦ |                               | ⑦ |                          | ⑦ | でも涙が止まらなくて結局母のおなかで号泣。      |
| ⑧ |                               | ⑧ |                          | ⑧ | 学校でも泣く人がいたらしい。             |
| ⑨ |                               | ⑨ |                          | ⑨ | これからむだのない人生を送ろう。           |

本道の意見を聞いて気付いたことや増えたこと  
 ・感情を工夫して、よりわかりやすくしたい。  
 ・手紙の上になくさん水たまりができた

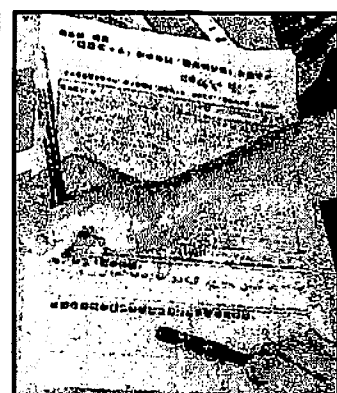
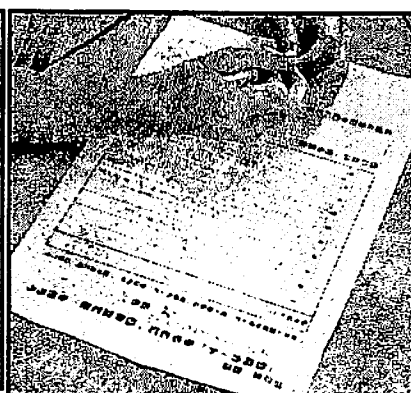
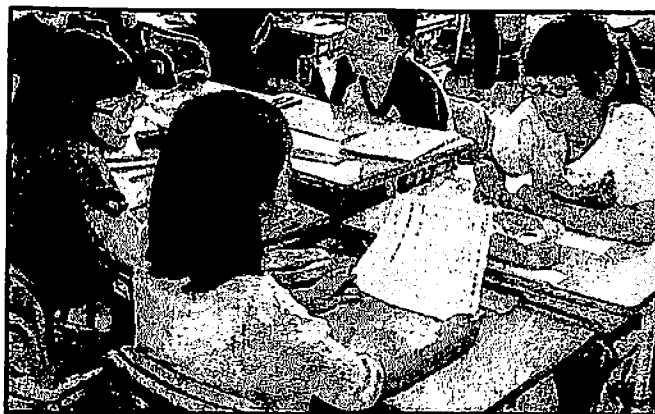
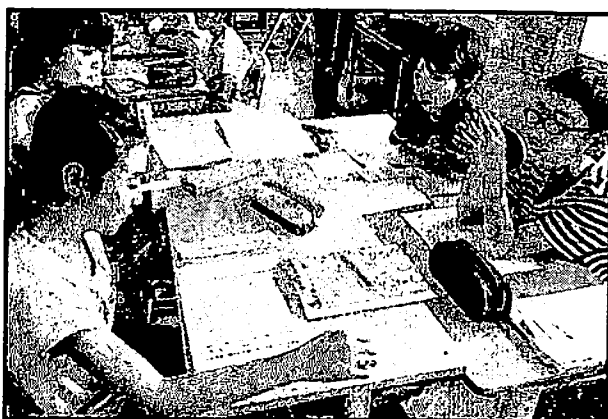
第4学年 実践記録 - 22 -





右上・単元の流れを示す掲示物  
 左上・情報カードの内容を整理する  
 左下・情報カードを書く順に並べる  
 右中・書く順に並べた情報カードを基  
 に、作品構成を組み立てる  
 右下・組み立て表にあらすじを書く

検証授業では、組み立て表を書き、小グループで意見交換をする場面を行った。単元の流れを掲示したことで見通しをもって学習を進められ、情報カードが手元に揃っていることで作品構成を考えることに集中して取り組む児童達。たくさんの情報カードを見ながら、どんな流れで作文を書こうかと試行錯誤している様子が見られた。書くことに苦手意識がある児童も、情報カードが書けていたことで、抵抗なく組み立て表に取り組んでいた。文集『ひざし』を分析した時と同じ方法で、自分の作文を組み立てていった。

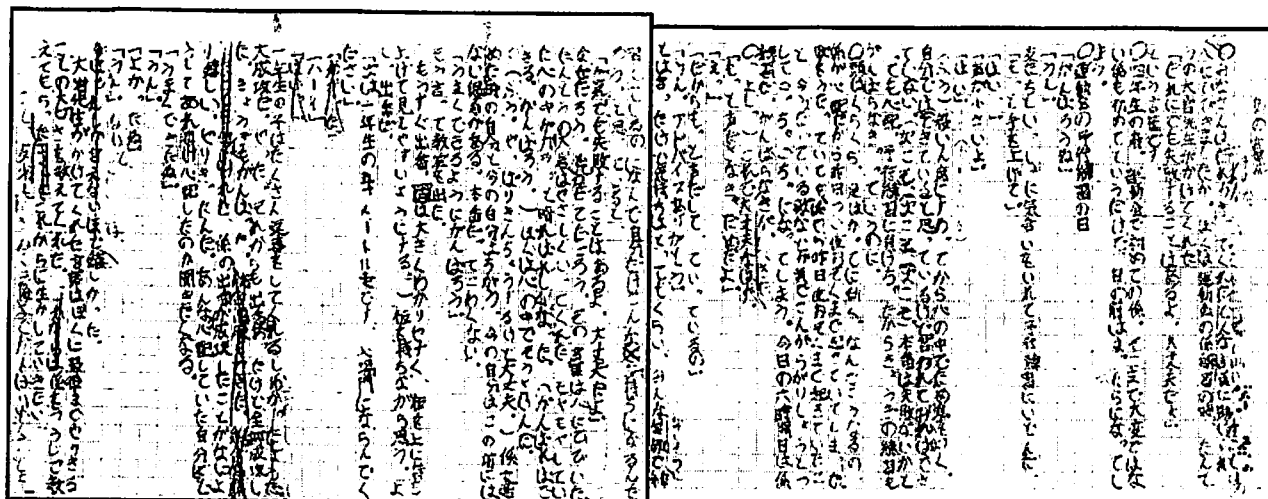


小グループでの意見交換では、作品の内容を紹介し合う活動を行った。組み立て表に考えた作品構成を言葉で伝えるために、もう一度よく考えながら話している児童が多く見られた。紹介した後は、感想やアドバイスを伝え合った。「ここをもっとわかりやすく書いた方が…」「心が動いた場面がよくわかった」などと、文集『ひざし』を読み込んだことで、作文を見る目が育ってきていることが実感できた。また、友達に伝えることで相手意識をもたせることができた。話し合いを受けて、組み立て表を修正する児童。

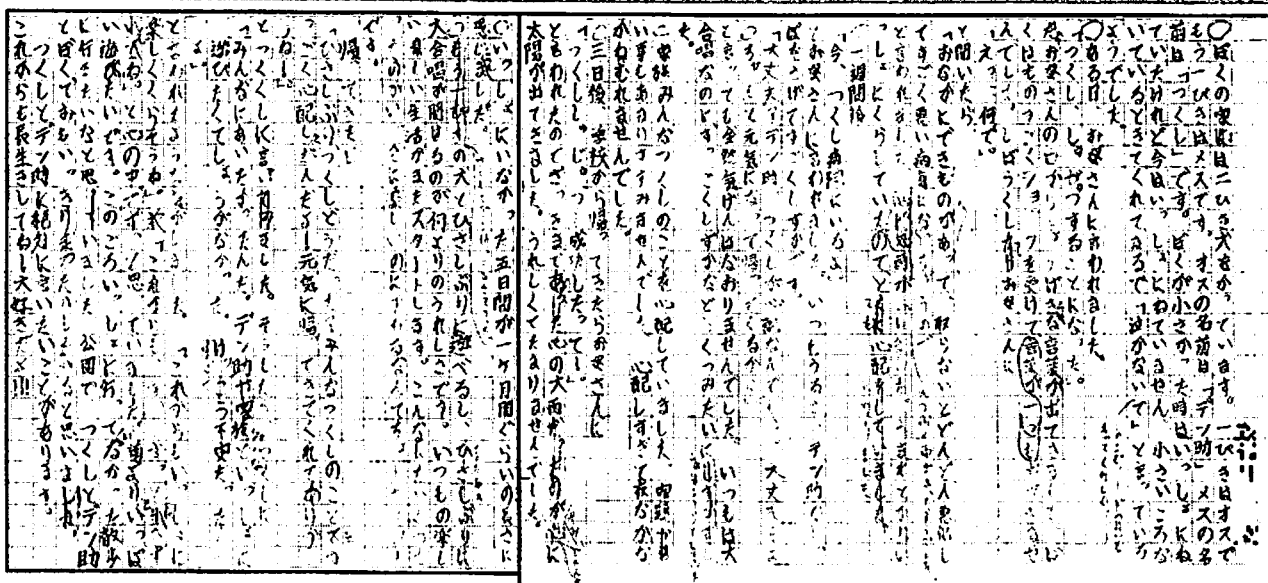


次時の下書きの前に、組み立て表を基に保護者にも内容を紹介する家庭学習を行った。児童によっては励ましや応援だけでなく、だめ出しもたくさん受けた。大人の読者からのアドバイスは作品をより高めるものになった。また、下書きでは、「組み立て表」、「国語辞典」、そして文集『ひざし』を机の上に用意して、作文を書き進めていった。

[illegible]



下書きの段階で、段落構成の工夫や、光る言葉を取り入れて書くなど、作品の大枠は完成している児童が多い。内容の評価は、題材集め（情報カード）が鍵を握っている。



原稿用紙は、通常の400字詰めのものではなく、オリジナルの用紙を作成した。児童の書きやすさも考慮し、A3サイズ、26字×35行（910字）の2枚分（1820字）を一人分（文集1ページ分）とした。これは文集『ひざし』の原稿用紙、26字×11行×5～7枚（1430～2002字）を目安としたものである。文章量としては、多くの児童が1枚半程度まで書けていた。3枚目まで書いている児童も3名いた。

学級文集では、A3の原稿用紙を50%縮小してA4にし、それを2枚合わせてさらに50%縮小したものを1ページ分とした。手書きの文字をそのまま印刷するので、児童は丁寧に、濃く書いていた。また、原稿が汚れないように、右利きの児童は紙を手の下に挟んで清書を行った。書く時は大きく、印刷したものは読みやすいサイズとなり、文集用に適した原稿用紙であった。

下書きの原稿用紙は、訂正や推敲を大幅に行い、見難くなってしまうために、家庭に持ち帰った際、別の用紙にもう一度下書きを書き直してくる児童もいた。学級文集用の原稿は清書を経て完成したが、その中から文集『ひざし』への応募用に選ばれた作品は、さらに推敲を行った上で清書をし、出品した。完成度を高める過程が「書くことができる力」を育てると考えている。

## 成果と課題

本単元の作文指導では、様々な言語活動を通して、「1学期の学級文集を作る」ことをゴールに設定して取り組んだ。日々の作文指導では、児童は主に生活作文や詩を書いているので、「文集に載せられる文章量」をもった作文を書くことは、かなりの挑戦であった。また、文集『ひざし』で学ぶと同時に、児童は「自分達も『ひざし』に応募したい」という意欲をもっており、完成した作文の中から良い作品を選んで応募することとした。

研究主題を達成するための仮説については、検証授業や学習全体を通して、どのような成果と課題があったかを以下にまとめた。

### <仮説1>

- 3学年の時より、毎週末作文や詩を書く家庭学習に取り組んでいることから、「書くこと」が好きな児童が多い。また、学級だよりに選ばれた作品が載り、担任のコメントがもらえることから、意欲的に書こうとする児童が増えてきている。
- 今年度より5分間作文に取り組んだことで、短い時間の中で伝えたいことを端的に書いたり、頭の中で文章構成を考えてから書いている児童が増えてきている。
- 5分間作文のコメントでは、表現の良さを認めたり、内容を褒めたりする機会を意図的に増やした。その結果、充実した内容で長い文章を書けるようになってきている。
- 今年度より家庭学習の音読カードに、一言感想を書き入れるようにした。自分の言葉で思ったことや感じたことを書ける児童が増えてきている。
- △作文や詩の家庭学習に、進んで取り組めない児童が数名いる。提出は少ないが、友達の作品はよく読んでいたので、今後も個別に声を掛け、励ましていく必要がある。
- △5分間作文の題材が、その日にあった印象的なことだけで、日記のように書いてしまう児童も数名いた。題材を選ぶ力に個人差が大きいので、継続した支援が必要がある。
- △家庭学習における「書く活動」では、保護者の協力の有無も大きかった。音読カードへの保護者のコメントや、作文や詩への興味・関心をさらに高めていく必要がある。

### <仮説2>

- 単元の教科書教材が、文集『ひざし』からの出典であったことで、教材と同じような文章を書きたいという児童の意欲を高めることができた。
- 文集『ひざし』の作品を段落に分け、内容を要約（一文にまとめる）することで、「始め・中・終わり」の作品構成の工夫に気付き、作品づくりの参考とすることができた。
- 文集『ひざし』の作品を読み、「光る言葉」を見付け、掲示物を作ったことで、それまでは知らなかった表現や言葉を知ることができ、作品に取り入れることができた。
- 小グループでの交流学习を行ったことで、相手意識が高まり、気持ちがいより伝わる表現を考えたり、言い回しを工夫したりすることができた。
- △文集『ひざし』の作品によっては、段落が極端に少なかったり、多かったりするものもあり、予め精選しておく必要があった。
- △内容の要約（一文にまとめる）はできている児童が多かったが、段落を基に「始め・中・終わり」に分ける作業が難しい作品もあり、こちらも精選する必要があった。
- △「光る言葉」を見付けるという活動や、言葉・表現に着目して作文を読むことはできたが、肝心の言葉の意味・使い方が正確に理解できていない児童もいた。

# 全体の成果と課題

## ＜仮説1＞

○日常的に様々な言語活動を行うことにより，児童の書く活動への抵抗が低くなった。その結果，自分の思いや考えを生き生きと表現できるようになった。

○日常的に書く活動を取り入れたことで，作文学習の際にも抵抗なく，書きたいという意欲が高まり，取り組めるようになった。

## ＜仮説2＞

○文集『ひざし』には自分と等身大の作品が載っているので，親近感をもちながら進んで読むことができた。たくさんの優れた作品に触れることができた。

○詩や作文を書く過程で交流活動を積極的に取り入れたことにより，学び合いの質が高まった。学習において個別な支援が必要な児童も自信を持って楽しく学習することができた。

○文集『ひざし』を教材として活用することで，今まで知らなかった表現や言葉を知ることができ，「光る言葉」として自分の作品に活かすことができた。感情や様子を表現する言葉の幅が広がり，自分の思いをのびのびと表現することができた。

○自分達の作品を友達同士で推敲するなどの交流活動を通して，より自分の思いが伝わるような表現を選択することができた。さらに，交流の視点や観点を児童にしっかりと理解させ，交流の質を高めていきたい。